

概要	○ 令和7年1月17日（金）、千葉県旭市に所在する採卵鶏の農場（約48万羽）において鳥インフルエンザの疑いが発生し、検査の結果、18日（土）、鳥インフルエンザ陽性が確定。 ○ 18日（土）1400、陸上自衛隊第1空挺団長（習志野・千葉）に対し、千葉県知事から鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 同日1800より、陸上自衛隊第1空挺団の隊員が殺処分等に係る支援を24時間態勢で実施。 ○ 19日（日）0736、自衛隊実施分の殺処分支援について完了し、じ後の防疫措置は自治体のみで可能となったことから、第1空挺団長は千葉県知事からの災害派遣撤収要請を受け、活動を終了。
活動部隊	○ 陸上自衛隊第1空挺団
活動態勢	○ 隊員約200名が24時間態勢で実施。 ○ 約48万羽のうち、自衛隊は発生鶏舎の約15万羽を担当。
活動内容	○ 鳥インフルエンザが発生した養鶏場における殺処分支援 等

位置関係

【凡 例】

● : 活動地域

● : 駐屯地

陸上自衛隊
第1空挺団
(習志野駐屯地)

発生農場
(千葉県旭市)

約58km

東京

千葉

銚子

横浜

藤沢

鎌倉

小田原

千葉県

活動写真